

# 人口10万人を目指して

三浦地区から大村市街地を望む



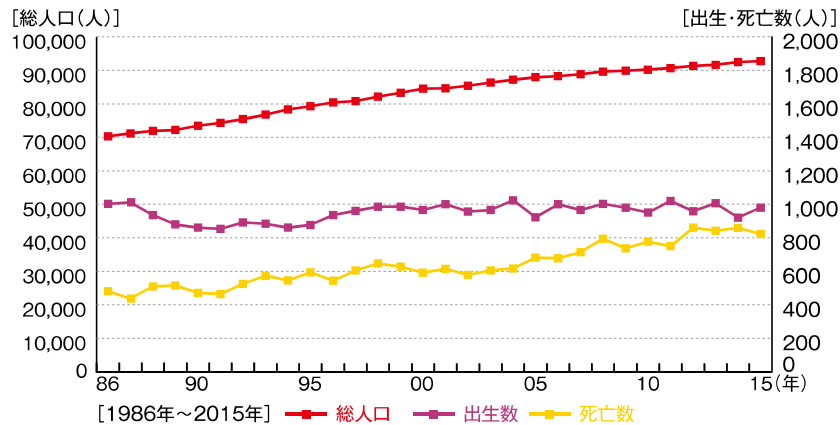
大村市はこれまで、空港や高速道路など高速交通の要衝の地として充実した都市機能を背景に、子育て支援の充実などに取り組んできました。その結果、県内13市で唯一人口増加を続けています。しかしながら、国立社会保障・人口問題研究所によると、本市も2020年をピークに人口減少に転じると推計されています。

今後、更なる人口増加を図るためには、これまでの取り組みをさらに充実させ、定住促進とともに、進学・就職に伴う若者などの流出を抑制する必要があります。

このため、市は、2025年に人口10万人を目指す「大村市人口ビジョン」、**「大村市まち・ひと・しごと創生総合戦略」**を策定しました。新工業団地整備による雇用の確保や新幹線を活かしたまちづくりなどに取り組み、「行きたい！働きたい！住み続けたい！」まちの実現に向けて、住み心地のよい魅力あるまちづくりを進めています。

## 人口推移

総人口は、自然増と社会増により増加を続けていますが、2005年からは鈍化傾向。また、出生数は死亡数を上回っていますが、高齢化を背景に死亡数が増加傾向にあり、出生数との差が縮小しています。



## 人口の将来展望

新工業団地整備による雇用の確保や新幹線を活かしたまちづくりなどを進め、10年後の2025年に人口10万人を目指します。(右図パターン【ア】)

